

インターバンクの声（2014 年 12 月 15 日）

ドル円相場は、12月第一週目の米雇用統計の発表後から翌週の月曜日にかけて付けた121円台後半レベルからは3円ほど下げたレベルを中心にした展開が続いている。もう一度年内にドルの上値を試す動きになるかは、今週の米連邦公開市場委員会（FOMC）の後に発表される声明の内容次第の部分も大きくなりそうだ。ノーベル経済学賞受賞者のクルーグマン氏とて予想を全て当てられる訳ではないが、氏は米金融当局が2015年に利上げを実施することはないだろうと見通しを明らかにしているらしい。市場では事実上のゼロ金利を「相当な期間」維持するとの文言が削除されるとの見方が強まっているが、月初のあれだけ強い雇用統計の結果をもってしても変更がない場合のショックによる影響が強くなるに違いない。株価の動きにもよるが、今日、明日の相場はFOMC待ちとなる公算が高そうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。